

児童発達支援自己評価 結果報告 (令和3年3月公表)

児童発達支援 ところ園

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標 工夫している点等
環境 体制 整備	1 利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	50%		・子ども10人：大人5人になると手狭に感じるが、全体把握ができることはプラス ・近隣にご協力いただき、隣の土地を活用させていただいたり、児童館が徒歩圏内にあること、車通りが無い立地が良い点
	2 職員の配置や専門性は適切であるか	75%	25%		・人員配置は子ども2：大人1を基本とし、有資格者を多く配置している ・子育て経験豊富な方が多いが、無資格者の方もいる。近年の障害分野は無資格の方が育つ環境を整えることが難しい状況にある。そんな中、とこっ子では、各事業所に無資格の方を育てる枠を設けることができています
	3 事業所の設備等は子どもの障がいへの配慮が適切にされているか	25%	50%	25%	・6年目を迎え、経年劣化も見えてきた。そのため、柱のささくれが刺さってしまうなんてこともあった。事業所点検の時間を設け、もっと事前の予防に気を付けていかなければいけないと思う
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	50%	50%		・日々のミーティングを行い、週に2度の会議時間を設け取り組んでいる ・非常勤の方への情報共有は連絡ノートをしっかり記入し努めているが、文字での共有は理解や表現に難しさがある
	5 保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善に繋げているか	100%			・毎年ご協力いただき、とても感謝しております ・毎年励まされ、気づきをいただいています
	6 この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	100%			・HPに掲載。紙ベースでも依頼があれば配布することをおたよりに載せている。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか		75%	25%	・いくつかの外部評価セミナーに参加し、検討を繰り返している
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・外部研修、法人内研修共に、昨年度と比べ大幅に参加率を上げることができた。3年度は更に向上させていく計画を立てております
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%			・「こんなところが苦手だよ」「こんなことができるようになるといいな」という思いがありましたら、お気軽にお話しください
	10 子どもの適応行動の状況を図	75%	25%		・まだ勉強不足で使えていないツールもある

	るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				ので、今後、より個別性に強いアセスメントツールを増やしていけるよう努めて参ります
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%		25%	・個別プログラムに関しては管理者が立案しているため、今後、他職員も立案していけるよう努めて参ります
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・一つの活動を一度行って獲得できるスキルは少ない為、同じ活動を意図的に何度か繰り返し行います ・また、同じ活動（同じ名称の遊び）でも、個別の関わりをもつことで一人ひとりの今のニーズに応えることができています
	13 子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて個別支援計画を作成しているか	75%	25%		・個別活動で練習したことを日常的に活用できるものになるよう集団で実践し、評価を行います ・必要に応じて生活面も支援計画に取り入れます
	14 支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	50%	50%		・朝一番の業務がミーティングであるが、全ての勤務時間に応じた打合せは難しくなっている
	15 支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	75%	25%		・一日の最後の業務がミーティングであるが、長い時間を設けることができておらず、気づいた点を話し合い煮詰めるほどには至っていないが、日々の業務の中で管理者がOJTを心掛けて指導している
	16 日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証・改善につなげているか	75%	25%		・個別の検証を行っている ・一つひとつの活動に対しても、休日出勤を利用して行っていたが、難しさもあり今は行っていない。職員を増やし、業務分担を行うことで時間の捻出を図っていききたい
	17 定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%		・週一会議で共有を図り、随時見直しを行っている
	18 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	75%	25%		
	19 相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	100%			・現在は管理者が代表して参加している ・職員が育ってきており、3年度は現場職員の同席を予定している
関係機関や保護者との連携	20 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			・相談支援員さんにもご協力いただきながら、情報共有に努めている
	21 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と	100%			・上記同様

関係機関や保護者との連携		相互理解を図っているか					
	22	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携しているか	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町の福祉サービスとは、直接のやり取りもさせていただいている</li> <li>・常滑市として、今後も働きかけていく</li> </ul>	
	23	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長に合わせて園庭開放や保育園等との交流を勧めさせていただき、保育園等と繋ぎ、行えるよう努めている</li> </ul>
	24	自立支援協議会へ積極的に参加しているか	100%				
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	75%	25%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・少ない時間ではあるが、送迎時にコミュニケーションを図っている</li> <li>・現場以外の業務もあるため、園での様子をあまり説明できない日もある</li> </ul>
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウィルスにより今年度のペアトレは実施できなかったが、再開を計画している</li> </ul>
	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家庭の都合上、お子様同席での契約ということもあるが、できる限り重要な点はお時間を頂戴して説明をさせていただいている</li> </ul>
	28	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画実施によるモニタリング報告も、できる限り園での様子や成長がわかるようにまとめ伝えることを心掛けている</li> </ul>
保護者への説明責任等	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時にお手紙をくださる方もいらっしゃり、とても嬉しく思います</li> <li>・適切な助言ができていないかわからないが、共感することやポジティブな会話が出来ていると思う</li> </ul>
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・とこっ子親の会は会員50名と大きくなり、完全任意団体であるが法人登録児童の半数に上る。</li> <li>・2年度はコロナウィルスにより予定の活動数が行えなかった</li> </ul>
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情はないが、日々の対応を誠実にやっている</li> </ul>
	32	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・月刊お便りは職員の取組みにより充実したものとなっている</li> <li>・「子育てトピック」はなるほど体験になるという</li> </ul>

保護者への説明責任等	33	個人情報に十分注意しているか	100%			
	34	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	75%	25%		・職員間の共有が滞り、保護者様へ同じ内容を二度確認してしまうことがあるため、気を付けていきたい
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25%	75%		・年に一度の法人全体行事である運動会を、よりみんなが参加でき、一人ひとりが輝ける場になるよう実行委員が「とっこフェスティバル」として新たな取り組みを始めている
	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50%	50%		・マニュアルがあるが、内容を保護者の方へ周知することはできていない ・お便りなどでお伝えしていけると良い
非常時の対応	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	75%	25%		・避難訓練は定期的に行っているが、救出訓練などその他のことも行っていけると良い
	38	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%			・事前に保護者の方から情報共有をさせていただいている
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	25%		
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			・毎週会議にて報告会を行っている ・事故に至ってしまわないよう予防や検証を行っている
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	75%	25%		・虐待防止の研修にまだ行けていない ・月に一回、セルフチェックを行っている
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	100%			・前例はない。契約時に重要事項として説明し、必要が認められたときは支援計画を保護者の方と作成し「どのようなときにあり得るか」「どのような対応が取れるか」を話し合い、必要に応じストラテジーシートなどのツールを用いていく
43	遊具・施設等の安全点検を定期的に行い必要な措置がされているか	50%	50%		・危険な物や場所があった場合は修繕をおこなっているが、設問3でも述べた通り、事前の予防ができていないため努めていく	